

梅の収穫作業等で接する機械・資材

コンテナ

収穫した梅を入れ運搬する容器。自重は2kgあり、約20kgの梅を入れることができる。JAマークのあるコンテナは出荷専用。



運搬車 (パタパタ)

エンジン付き運搬車。平坦地でコンテナを運搬する機械。



モノラック

斜面地でコンテナを運ぶ機械。人が乗ることはできません。足や腕を巻き込み大事故になる危険性があります。農家の指示に従い、十分に注意してください。



脚立 (三脚)

手の届かない梅の収穫に用います。必ず2本の方の脚を地面と平行に設置してください。使用にあたっては農家の指示に従ってください。



カゴ (ポテカゴ)

梅を収穫するカゴ。農家により種類が異なります。



ネット

梅畑に敷き、梅の収穫を容易にするためのネット。農家によりネットの敷き方が異なります。



選果機

梅の大きさを選別する機械。農家により種類が異なります。



段ボール

青梅を出荷するための箱。5kg用と10kg用の2種類のサイズがあります。



青梅出荷用の資材

ボクサー (箱の底を針で止める)。テープ (箱の上を止める)。スタンプ (箱に梅のサイズを印字する)。



梅漬けタンク

選別した梅を漬けるタンク。農家により種類が異なります。

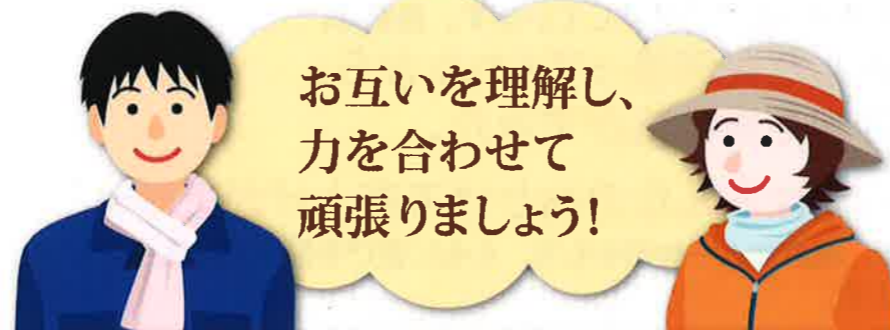


服装・持ち物チェック



服装や必要な持ち物を、事前に農家に確認し、下記に記入して作業の準備を整えましょう。農家が用意してくれる場合もあります。

- 帽子
- 手袋
- 長袖シャツ、長ズボン
- カッパ
- 長靴
- 着替え
- 飲みもの
- 弁当
- 日焼け止め
- 虫よけスプレー



お互いを理解し、
力を合わせて
頑張りましょう!

作成 みなべ町労働力対策協議会

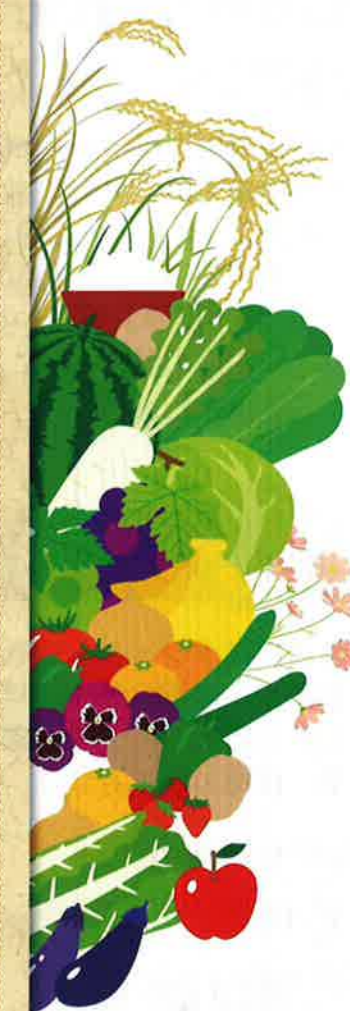
(梅干生産者協議会、農業振興協議会、JA梅部会、農業士会、農業委員会、梅郷クラブ、JA青年部、JA紀州、産業課、うめ課、日高振興局、議会産業建設常任委員会)

●お問合せ 0739-72-1337 (みなべ町産業課)

このハンドブックは(株)パソナ様の了解を得て、パソナ様が作成された「援農希望者向けハンドブック」の一部をみなべ町の梅収穫作業等にアレンジして作成しました。

【援農希望者向け】

ハンドブック



1 仕事の流れを覚える

農作業の経験のない援農者が仕事を覚えていくには、

- 1 教えてくださる農家の横に並んで
- 2 同じ目線で
- 3 細かいところまで確認しながら
- 4 その作業は何のために行うのか
- 5 どうやったら上手くやれるのか

などを意識しながら、作業手順のコツを習いましょう。農作業に取り組む姿勢が大事です！農家は援農者の姿勢を見ています！「農家がちゃんと教えてくれない」と感じた方は…、自分たちが仕事に取り組む姿勢を振り返ってみると反省点があるかも…。わからないことは、恥ずかしいと思わず、素直に質問してください。農家もやさしく教えます。

※メモ帳(ポケットに入るくらいの)とペンを用意してメモを取りましょう。

2 作業内容の指示を正確に守る

仕事のスケジュールやその日の仕事について、農家からの指示が無い場合や忘れてしまった場合は、必ず作業を始める前に確認しましょう。

[4W1Hで確認]

- ✓ 何時から (When)
- ✓ 誰が (Who)
- ✓ どの場所で (Where)
- ✓ どの物を (What)
- ✓ どのような作業で (How)

作業内容の勘違い、思い込みが作業ミスの原因となります。小さいミスの積み重ねが、大きなミスに繋がる場合があります。

スムーズに作業を行う、大切な事です。



3 作業のミスを直す

農業の場合、相手は生き物！最初は小さなミスと書いていても作物が成長するにつれて大きな問題になることがあります。例えば、果実につけた小さなキズは、収穫期になると大きなキズになり、商品価値を落としてしまいます。援農者は農家と一緒に農作物を作っています。一つひとつの作業を慎重に行いましょう。また、ミスをしてしまったら、隠さずに報告する。次からミスをしないための対策を立てる。といった事を守りましょう。

4 再びミスを起こさないための対策

援農者は同じミスを繰り返さないために農家に再度、作業方法を確認し、何度も繰り返し習得していくことが大事です。作業内容が自分には難しすぎる、仕事量が多く、体力的についていけないと感じたら、作業内容や役割分担を変えてもらうことも考えましょう。複雑すぎる作業、過度の仕事量を我慢していませんか？

5 農家にやる気を見せる

援農者が仕事に慣れてくれば、農家の期待も大きくなります。農家は援農者に対し、仕事の能率だけで判断せず、個々の個性を尊重し、その人の良さを引き出していくことにより、まとまりや共同意識の高まりなどを期待しています。農家は、

- みんなが頑張ってくれたから、今年も良い物ができた。
 - 今年はみんなのおかげで売上げが上がった。
- など、援農者と一体感を持ち、ともに喜びを感謝する気持ちを持っています。

6 毎日のコミュニケーションを大切に

仕事をしている上で一番大切なことは職場の明るい雰囲気づくりです！援農者の明るいコミュニケーションは、農家や他の援農者の心を和ませる労働意欲を沸き立てるでしょう。

- まずは、元気なあいさつを心がけましょう。

7 健康管理

自分の体調は自分にしか分かりません。十分な休憩をとるとともに、それ以外でもこまめな水分補給を行い、熱中症等ならないように健康管理には十分に注意しましょう。体調がすぐれないときは我慢せず、すぐに園主に伝えましょう。

梅畑で注意が必要な生き物

マムシ (ハビ)

● 特徴

茶褐色で銭形のまだら模様が特徴。体長は 50cm 前後で胴が太い。

● 咬まれた時の対処

体が小さく毒の量が少ないが、死に至る場合があります。咬まれたら、口を使わずに傷口から毒を絞り出し洗浄し、心臓に近い箇所を軽く縛り、傷口を心臓より下げ安静にします。毒が急激に回ることはないので、あわてずに医療機関で血清投与などの治療を受けてください。



アシナガバチ

● 特徴

細身のすらりとした体で、飛んでいる時に見える長めの足が特徴的。

● 刺された時の対処

刺されたら、頭を隠し速やかにその場を離れましょう、他のハチを呼び寄せる習性があります。幹部の毒を絞り出し、流水で洗い流します。抗ヒスタミン系成分を含むステロイド系軟膏でケアしましょう。心配な方は医療機関で受診してください。

※アナフィラキシーのある方は事前に園主に伝えておきましょう。



マダニ

● 特徴

体長が 5mm 前後と大きく肉眼で確認できます。マダニが感染症のウイルスを媒介するため、死に至る可能性もあります。

● 刺された時の対処

作業後すぐにシャワーで全身を洗いましょう、刺される前にマダニを流し落とせる可能性があります。刺されたら安易に取ろうとせず、必ず医療機関で除去して貰いましょう。無理に取ろうとすると体液の逆流により感染症のリスクが高まる恐れがあります。



その他ムカデやイラガにも注意をしましょう。